

# 自然環境調査実施報告書の概要について

## 1 実施概要（調査報告書 P1～P6）

「生物多様性のだ戦略」の見直しを行う中で、市の生物多様性の現状を把握し、生物多様性の保全を図るための課題などを明らかにするための基礎情報を得ることを目的として、市内 13 地点の動植物調査を実施

### (1) 調査及び報告書完成までの経緯

- ・調査全体の整合を図るため「調査員会」を設置

年	月日	概要
2020 (令和 2)年	7 月	調査に関する関係者ヒアリング (協力依頼・調査実施方針の確認等)
	8 月 25 日	調査員会開催 (調査方針等の確認・共有)
	9 月 15 日	第 3 回市民会議開催 (調査計画の承認)
2020 (令和 2) 年 9 月から 2021(令和 3)年 10 月		調査実施
2021 (令和 3)年	4 月 9 日	第 4 回市民会議開催 (書面) (秋季調査結果速報)
	6 月 28 日	第 5 回市民会議開催 (自然環境調査中間報告)
	11 月 25 日	調査員会開催
2022 (令和 4)年	3 月 8 日	(調査とりまとめ確認)
	4 月	自然環境調査報告書完成

### (2) 調査対象区分及び調査地点等

対象分類区分は 7 区分 ※哺乳類は任意調査

「植物」「鳥類」「両生類・爬虫類」「魚類」「昆虫類」「哺乳類」「歴史」

調査地点は 13 地点

「1 中戸谷津」「2 関宿落堀ビオトープ」「3 五駄沼付近」「4 尾崎金島地区」  
「5 小船橋水辺公園付近」「6 はきだし沼」「7 座生調整池」「8 柳沢西山市民の森・柳沢北耕地市民の森」「9 木野崎城下」「10 三ツ堀里山自然園」「11 ニツ塚」「12 南部耕地 (鳥類のみ)」「13 江川地区」

その他、調査体制や方法等は調査報告書 P2～P6 のとおり

## 2 調査結果（調査報告書 P7～P41）

対象分類別（調査報告書 P7～P14）及び調査地点別（調査報告書 P15～P30）に結果をとりまとめた。あわせて、自然は、その地域の歴史とともに残されているという観点から、調査地点かつ関東におけるコウノトリの飼育・放鳥拠点である江川地区の歴史をとりまとめた（調査報告書 P31～P41）。

### (1) 対象分類別の主な結果

対象分類別	結果概要
植物	<ul style="list-style-type: none"><li>・確認種 140 科 794 種</li><li>・環境省レッドデータリスト掲載種は 21 種、千葉県レッドデータブック掲載種は 49 種</li><li>・外来種・栽培種が 208 種と、確認種全体の 4 分の 1 を占め、在来種への影響が懸念される</li></ul>
鳥類	<ul style="list-style-type: none"><li>・確認種 36 科 100 種</li><li>・環境省レッドデータリスト掲載種は 10 種、千葉県レッドデータブック掲載種は 46 種</li><li>・開発による猛禽類の繁殖地の激減が懸念される</li></ul>
爬虫類・両生類	<ul style="list-style-type: none"><li>・爬虫類確認種 5 科 9 種。千葉県レッドデータブック掲載種は 7 種</li><li>・外来種のアカミミガメは市全域の水域で確認</li><li>・両生類確認種 5 科 7 種。環境省レッドデータリスト掲載種 1 種、千葉県レッドデータブック掲載種 4 種</li><li>・元来、生息していたカエル類の多くを確認。ただし個体数の減少が懸念される</li></ul>
魚類	<ul style="list-style-type: none"><li>・確認種 8 科 25 種</li><li>・環境省レッドデータリスト掲載種は 8 種、千葉県レッドデータブック掲載種は 7 種</li></ul>
昆虫類	<ul style="list-style-type: none"><li>・確認種 148 科 584 種</li><li>・環境省レッドデータリスト掲載種は 11 種、千葉県レッドデータブック掲載種は 46 種</li><li>・個体数の減少が懸念される</li></ul>
哺乳類 (任意調査)	<ul style="list-style-type: none"><li>・確認種 8 科 8 種</li><li>・特定外来種のアライグマや重点対策外来種のハクビシンを複数の調査地で確認</li></ul>

## (2) 調査地点別

No.	調査地名	調査範囲等	結果概要
1	中戸谷津	野田市関宿斎場の樹林から周辺の水田、用水路 ※植物は関宿橋付近までの江戸川沿いを含む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田環境が良好で水田植物が豊か。魚類が多い</li> <li>・斎場出入口付近で太陽光発電施設による開発予定があり伐採等による影響が懸念される</li> </ul>
2	関宿落堀ビオトープ	ビオトープとして整備された用水路、堤防法面（草地）、隣接する水田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水路、田圃、斜面林、利根川堤防の草地などもあり、水路には木道が整備され、自然観察を行う場所として良好</li> <li>・水路の木道は、日によっては釣人に占拠され、ドブガイを放流する人もおり、利用マナーなど対策が必要</li> <li>・ゴミが散乱している</li> </ul>
3	五駄沼付近	五駄沼に流出入する用水路、周辺水田、林縁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田、池、樹林が一体的な環境となっており、良好な里山景観が残されている</li> <li>・水田は圃場整備されておらず土水路が残っている</li> <li>・江戸川から近く、水鳥が多く飛来する</li> </ul>
4	尾崎金島地区	尾崎谷津（湿地、斜面林、水路）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水路の水質改善が必要</li> <li>・建築資材などゴミの投棄がある</li> <li>・市が定期的に除草を実施</li> </ul>
5	小船橋水辺公園付近	小船橋水辺ビオトープ付近及び周辺水路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水路は水生植物が多いが、ゴミも堆積している</li> <li>・公園内の管理が必要（ゴミ・倒木・木道沿い草本の繁茂等）</li> </ul>
6	はきだし沼	沼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民グループによるブルーギル、オオクチバスなどの駆除活動や定期調査が行われている</li> <li>・多様なトンボ種を確認</li> </ul>
7	座生調整池	調整池内湿地、周辺斜面林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺斜面林・座生川を含む調整池一帯として保全することで多くの生き物の生息が可能になると推測される</li> </ul>
8	柳沢西山市民の森 柳沢北耕地市民の森	樹林、樹林内湿地 樹林、隣接調整池	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林内が暗く、ゴミの投棄が目立つ</li> <li>・隣接調整池と一体的な空間となっている</li> <li>・住宅地や小学校から近く、環境学習のフィールドワーク地点として期待</li> </ul>

No.	調査地名	調査範囲等	結果概要
9	木野崎城下	ため池、水田、水路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田の転作による大豆畑が増え、生態系が変化しつつある</li> <li>・利根川沿いのため、猛禽類の飛来が多い</li> </ul>
10	三ツ堀里山自然園	自然園内および隣接緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体が草刈りなど、園内の管理を行っているが、きれいに除草されすぎて、生き物の隠れられる場所が少ない</li> <li>・散策・昆虫採集等、人の利用が多い。園内は採集禁止としているが、ルール・マナーが浸透していない</li> </ul>
11	二ツ塚	湿地（休耕田）、隣接湿生林、水路、斜面林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹林地の規模が縮小している</li> <li>・田圃の休耕・荒廃が進んでいる</li> </ul>
12	南部耕地	広大な水田地帯一体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまった面積の水田地帯や豊富な水量の幹線水路があり、野鳥にとって重要な環境となっている</li> </ul>
13	江川地区	水田、湿地、斜面林、水路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)野田自然共生ファームによる維持管理により良好な里山環境が保全されている</li> <li>・コウノトリの飛来・滞在やヘイケボタルを確認</li> </ul>

### (3) 歴史調査

自然環境調査地点である「江川地区」について、江川堤坎樋（いりひ）や江川耕整記念碑などを自然と関わる7つの魅力としてとりまとめた。



江川堤と坎樋の位置  
慶応2年（1866）の上三ヶ尾村  
下三ヶ尾村絵図  
（安蒜五郎家文書）



利根運河から近い県道7  
号沿いに立つ  
「江川耕整記念碑」

## 3 調査結果からみえる課題（調査報告書 P42～P44）

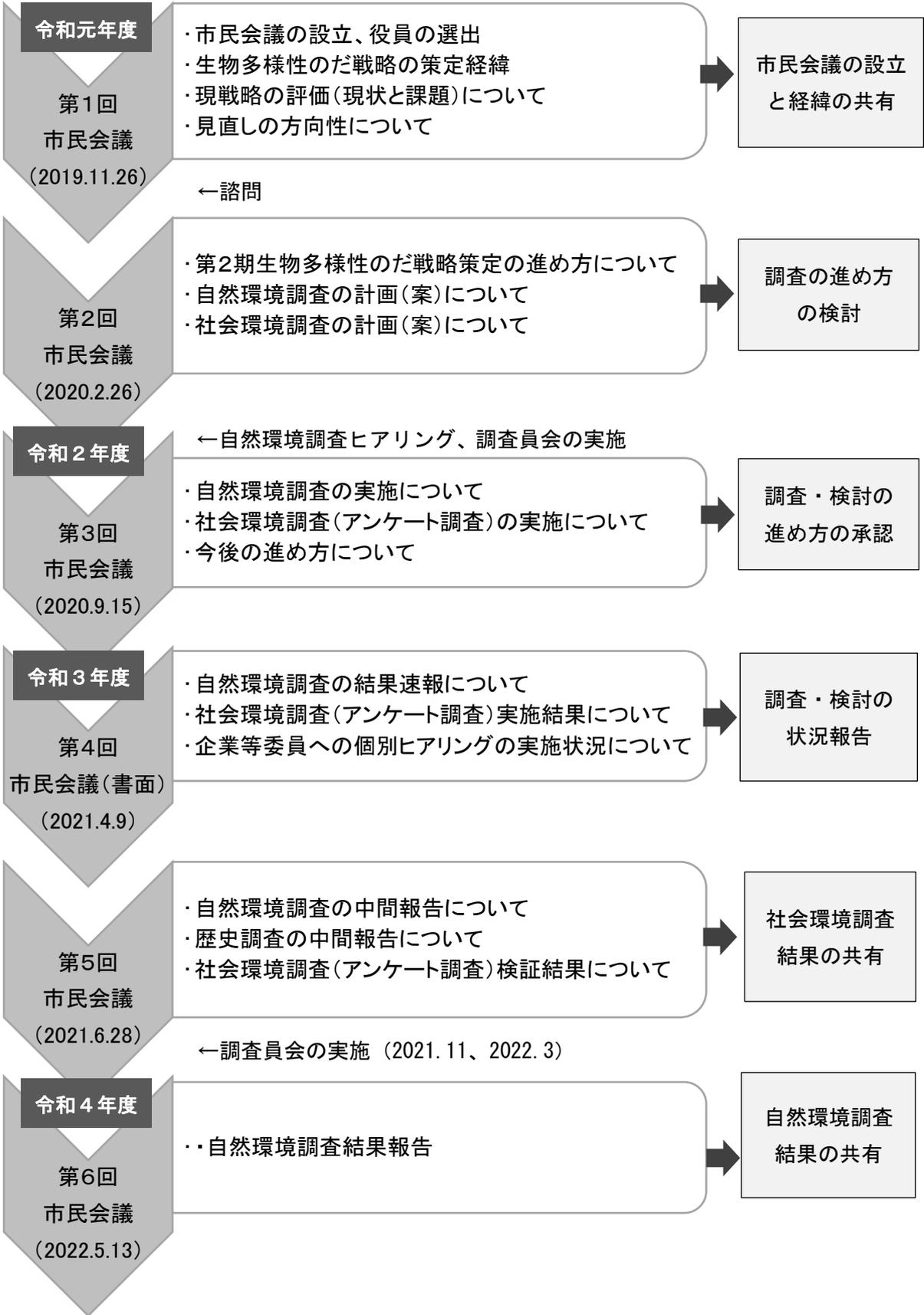
すべての調査結果からみえる課題は次の通り

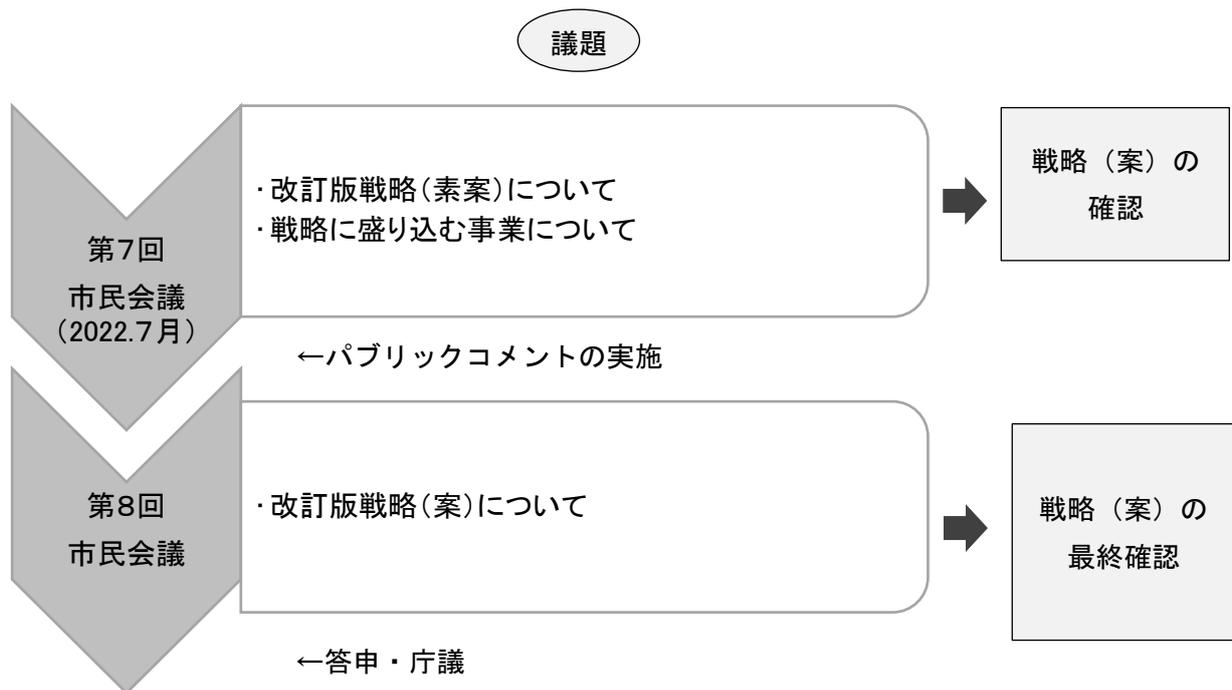
- (1) 良好な自然環境の維持管理
- (2) 乱開発の防止・拠点となる自然の保全
- (3) 希少種の保全と外来種の侵入抑制
- (4) ルール・マナーを守った自然の利活用
- (5) 自然環境調査データの蓄積と活用
- (6) 市民の自然に対する意識の向上・醸成

# 今後のスケジュールについて

※R4.5月現在

議題





## 「新・生物多様性のだ戦略」の策定

※ 今後の市民会議のスケジュールについて、上記のとおり予定していますが、新型コロナウイルス感染症対策の状況をふまえ、適切に進めたいと考えています。

### 次回（第7回）市民会議について

これまでの内容	市民会議での報告、意見等
現戦略の事業評価	第1回会議
社会環境（アンケート）調査	第5回会議
自然環境調査	第6回会議
委員からの意見等	第1回～第6回

### 次期戦略（事務局案）を作成

現戦略の事業評価と、これまでの市民会議や調査等が出た課題や意見等を振り返り、次期戦略（事務局案）を示し、ご意見をいただき、市民会議の中で、次期戦略の将来像や目標、方針、事業を作成します。